

第131回新生ふくしま復興推進本部会議
第40回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議
合同会議 議事録

- 日時：令和5年9月5日（火） 11：00～11：10
- 場所：第一特別委員会室（本庁舎2階）

【鈴木副知事】

新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

早速、報告事項の1つ目「国の令和6年度予算概算要求」について、報告事項の2つ目「国の令和6年度予算概算要求（福島イノベーション・コースト構想推進関連）」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

資料1を御覧ください。政府予算対策につきましては、6月の政府要望をスタートとして、国との協議を重ねてまいりました。資料の左側は、先月の福島復興再生協議会の場において、知事から各大臣に直接要望いただきました項目を記載しております。右側は、各府省庁から公表された令和6年度概算要求の主な状況に対応させております。

まず、ALPS処理水の処分に係る責任ある対応につきましては、水産業復興販売加速化支援事業や水産物のモニタリング・水産業の生産対策などが計上されております。また、避難地域の復興・再生や避難者等の生活再建、風評払拭・風化防止対策の強化、福島新エネ社会構想の実現などに関する事業についても本県の要望を踏まえた必要な予算が計上されております。

なお、事項要求とされております特定帰還居住区域整備事業につきましては、引き続き、必要な予算が計上されるよう国へ求めてまいります。

今後とも、財政当局との折衝に向け、各府省庁を後押しできるよう、各部局が根拠となるデータ等を用いて丁寧に説明し、本県の要望・実情が年末の政府予算案に確実に反映されるよう、引き続き、国との協議・調整を進めてまいります。

次に、資料2を御覧ください。「福島イノベーション・コースト構想推進関連予算」についてです。要望に対応した各項目について、資料右側に令和6年度概算要求の主な状況を記載しております。「研究開発等の推進・産業集積の促進」に関する事業など、福島イノベーション・コースト構想の推進に必要な予算が盛り込まれているほか、福島国際研究教育機構の取組に係る予算が確保

されるなど、おおむね、本県の要望が反映されております。

引き続き、本県の要望の着実な予算化に向け、国との調整にしっかりと取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

今の説明に関して、危機管理部長。

【危機管理部長】

危機管理部関連では、ALPS処理水を始めとする廃炉対策としての予算が計上されているほか、ALPS処理水の海洋放出に係る海域環境モニタリングについて、国・県が実施するために必要となる予算が計上されております。

引き続き、これらの予算が確実に確保されるよう関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

避難地域復興局。

【避難地域復興局次長】

避難地域復興局関係では、福島再生加速化交付金、特定復興再生拠点整備事業や被災者支援総合交付金など、避難地域の復興・再生及び避難者等の生活再建の実現に必要な予算が計上されております。

また、特定帰還居住区域整備事業が事項要求として盛り込まれております。引き続き、必要な予算・制度が措置されるよう、関係省庁との調整をしっかりと進めてまいります。

【鈴木副知事】

生活環境部。

【生活環境部長】

生活環境部関連では、中間貯蔵施設事業の着実な実施や県外最終処分に向けた全国での理解醸成など、環境回復の取組のほか、ふくしまグリーン復興構想や脱炭素の視点での復興まちづくりなどの未来志向の環境施策の推進、カーボンニュートラル推進のための予算が計上されました。

また、鳥獣被害対策や公共交通の確保などの予算が計上されております。

今後も、これらの予算が確実に確保されるよう、関係省庁との調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

保健福祉部。

【保健福祉部長】

保健福祉部関連では、被災者の心のケアへの支援、避難地域等における医療提供体制の再構築に加え、新たに双葉地域の中核的病院の整備など、中長期的に必要な取組について計上されております。

これらの予算及び新型コロナウイルス感染症対策に必要な予算が確実に確保できるよう、引き続き関係省庁としっかりと調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

商工労働部。

【商工労働部長】

商工労働部関連では、産業の再生や創出などに向けた被災事業者の事業再開や企業立地補助金、観光関連復興支援事業などの予算が計上されております。

さらに、福島イノベーション・コースト構想関連の予算として、福島ロボットテストフィールド関連、実用化開発などに関する経費や、福島新エネ社会構想に関する経費が計上されております。

国に対して、これらの予算の必要性を説明し、確実に確保されるよう、今後とも必要な調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

農林水産部。

【農林水産部技監】

農林水産部関係では、風評払拭を総合的に支援する「福島県農林水産業復興創生事業」や「水産業復興販売加速化支援事業」に所要額が計上されました。また、「福島県営農再開支援事業」の基金積増しを要望し、21億円が計上されました。

今後とも、これらの予算が確実に確保されるよう、関係省庁との調整を進め、避難区域の営農再開や風評払拭などに向け、農林水産部一丸となって取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

土木部。

【土木部長】

土木部関連では、社会資本整備総合交付金の復興枠による道路整備や、福島再生加速化交付金による復興祈念公園等の整備が盛り込まれております。

また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」については、事項要求として盛り込まれており、河川改修や予防保全型のインフラ老朽化対策等を重点的に進めるため、必要な予算が確実に措置されるよう、引き続き関係省庁との調整をしっかりと進めてまいります。

【鈴木副知事】

教育庁。

【教育長】

教育庁関連では、教職員の加配やスクールカウンセラーの配置継続、福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成など、「福島ならではの」教育を推進するために必要な予算が計上されております。

多様な個性をいかし、対話と協働を通して社会や地域を創造することができる人材育成に向け、引き続き、関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

ほかにありますか。なければ、知事からお願いいたします。

【知事】

国の令和6年度予算概算要求が公表されました。各部局長から発言があったとおり、それぞれが国との協議を進め、あらゆる機会を捉えて令和6年度の予算確保を訴えてきました。

その結果、ALPS処理水の処分に係る対応を始め、避難地域の復興・再生、避難者等の生活再建、風評払拭・風化防止対策などに関する事業が盛り込まれました。

また、今後の予算編成において具体的な検討が進められる特定帰還居住区域整備事業が含まれるなど、関係府省庁には、おおむね福島県の要望を踏まえた対応をしていただきました。

福島県の復興と地方創生を前に進めるためには、年末の政府予算案に必要な予算、そして制度が確実に盛り込まれることが必要であり、これからの取組が

重要です。

引き続き、国との協議・調整を粘り強く進めてください。

【鈴木副知事】

以上で、合同会議を終了します。